



にじのかけ橋

発行／特定非営利活動法人にじのかけ橋 〒658-0054 神戸市東灘区御影中町8丁目3-14

電話 078-842-7765

E-mail: niji@nijikake.com

ファックス 078-842-7790

http://www.nijikake.com

にじかけスタイル！

理事長 武田純子

日々の生活の中で【コ・ロ・ナ】という映像・言葉を目に耳にしなない日はありません。

新型コロナウイルス感染症の恐怖が2月ごろより私達の日常に入り込んでからというもの、老若を問わず、生活スタイルをはじめ価値観も一転しました。

お陰様で当法人の4事業所は、第2波の襲来にもめげず感染対策に万全の配慮をして開設しております。そこには、ご家族や職員の多大な協力があり感謝申し上げます。

現時点で感染者は発生しておりませんが、まだまだ気の抜けない状況が続きます。

本来6月に開催予定の当法人理事会は書面審議を経て承認をいただきました事を、ご報告致します。今年度は長年関わって下さった2名の理事が退任となりました。尽力いただきました事にお礼申し上げます。

又、コロナ対策のさなか、職員の異動等もあり近年になく慌ただしく過ぎた半年でした。私の関わっている外部の諸会議が中止となった分、「ステイホーム」にあらず「ステイ事業所」と



なった事で、普段より多く利用者や職員と過ごす時間が持てた事は貴重です。このような機会に職員の動きを見えていますと送迎時の車中の換気や食事介助の間隔、限られた空間の中で行うプログラムの工夫等、三密に気をつけながら動き回る光景は、「自分たちが利用者の安全を守らねば」という使命感が、職員一人ひとりから、ひしひしと伝わります。普段とは違った姿を垣間見ることが出来て頼もしく感じました。

「ステイ事業所」を体験してみて、これからもコロナと共存していく為に、リモートの導入をすることになりました。あらゆる情報源をITに依存してしまう事なく、必ず耳と目で確認することは怠りません。基本は「人」を介した支援であることを念頭におき、常に「延長線上には必ず利用者をイメージして支援をする」事を大事にしていきたいと思っております。「距離は離れても気持ちは密に」努力し【にじかけスタイル】を保っていきたいと思っております。

コロナ渦でもポジティブに

バランスを大切に!

2020年4月着任 生活介護 管理者・サービス管理責任者 羽田晋也

コロナによる色々な変化の中で、毎日のように職員間で打ち合わせをしています。ずっと「これでよかったのか?」「もっと良いやり方があったのでは?」と自問自答が続く毎日です。コロナへの対応は、利用者、ご家族、職員間においても様々な思いや方法があり、それをできるだけ広く汲み取り、バランスのとれた形で活動に生かせればと考えています。今後も安全に細心の注意を払い、事業所の雰囲気やピリピリしたものにならないように、これまでと変わらず楽しい気持ちで活動が続けられるように、みんなで協力していきたいと思っています。



とろけるプリンよ、おいしくなあれ~

通常の日々に感謝

二ノ宮美幸 (ぶどうの木利用者の母)

緊急事態宣言発令時、関西の大学に入学した甥もいて7人家族のコロナ生活が始まりました。オンライン学習の甥、リモートワークの次女など、みんな不慣れな生活でした。そんな中、ぶどうの木はいつもと変わらず開所して下さり娘は大きく体調を崩さず過ごすことができました。「今週も無事終わりましたね」と言い合うのが職員の方との挨拶でした。ボランティアさん等もストップで少ない職員の方々でお世話して下さり、感謝感謝です。

なないろチームに加わって

2020年4月着任 管理者・児童発達支援管理責任者 長田祐子

3月からの学校休校とあふれんばかりの不安情報の中、子供たちにとっては“うれしさ”“さびしさ”の入り混じった思いもよらぬ長〜い春休みとなり、また新一年生は楽しみにしていた入学式もできずがっかり。そのような中、放課後等デイサービスなないろは休まず開所。利用される児童さんには安心!楽しい!発散!の活動を、自宅で過ごされる方にはお電話などでつながりを大切にし、なないろチーム力のパワーアップを育みました!(^^)!



“ふむ、このあたりがいいね”



“やっぱり な・か・よ・し”

僕は元気だ!

新元祥之 (ぶどうの木利用者)

コロナのニュースは見ることもある。ちょっとこわい。だから、マスクを頑張っつけてみた。でも、よだれでぬれてしまって気持ち悪かった。ずっとつけることはできない。だけど僕は、ずっとぶどうの木に休まず通っている。ショートステイがないときがあった。お母さんは大変だと思ったけど、ぶどうの木には行けてすごくうれしかった。
(聞き取り)

オーバーじゃないシュートを決めるよ!



花は満開
笑顔も満開

昼食の新習慣 “一直線に並んで”



おめでとう! 20歳の誕生日!



ウィズ コロナ

大野寛美 (にじのかけ橋利用者の母)

ウィズコロナになり先ず困ったのは竜幹はマスクが苦手な事。着けるのが嫌な上ゴム紐は大好きな遊び道具。1秒と保てずにゴムは引きちぎられ無残な姿に。そこで二十年ぶりにミシンを出してマスクを縫い始めました。試行錯誤の中、村岡さんから西村大臣マスクを教えてもらい型も決まりました。今ではマスク作りは私の生活の一部になり楽しくなってきました。竜幹も職員の皆さんのおかげで顎マスクになりがちですが着けられるようになりました。まだ制限された不安な生活は続きますが、どうしたらストレスにできるのかを考え楽しみに繋げていきたいと思っています。

一筆に、心を込めて!



ねとげ緊急事態宣言

著 島尻浩和 (にじのかけ橋利用者)

政府から緊急事態宣言がささやかれる最中、車で送ってくれる職員さんに聞いてみたことがある。

俺 「緊急事態宣言がでたらにじかけあるんですか~」

職員 「安心して下さい。ありますよ~」

俺 「そうですか~」 (落胆の声・駐目な姿勢)

職員 「でたらどうするんですか?」

俺 「どうしましょ~」 (休む×自粛するぞ~という固い決意を胸に)

同時期に友達とネットゲームしようぜという話もでていた休み中、違った自粛中ネトゲ三昧だ~とおもってその友達のお兄さん (Pc詳しい) もさそって見たら

兄さん 「鳥ちゃん (ニックネーム) スペック足りてないね~」

俺 「マジッスか~、まあもう9年10年つかってるっスからね~」

“シュルルル~~ 外は最高!”



コロナで変わった生活

高瀬摩以子 (にじのかけ橋利用者の母)

思い返せば、3月の卒業式ができるかどうかという不安な日々から始まりました。無事卒業式を終え、春から新しいスタートと色んな期待をしていた時の新型コロナ。振り回される毎日で、楽しみにしていた事業所に通うことも難しくつらい日々ですが、色々試行錯誤しながら楽しみを見つけて過ごしています。まだまだ収束しそうでないコロナとうまく付き合っていたらと思います。今後とも、どうぞよろしくお願いいたします。

『はじめまして 理事に就任いたしました』

副理事長 中西光政

このたび理事に就任いたしました中西と申します。よろしく願いいたします。

猛暑、水害等ここ数年痛ましい自然災害が毎年のように日本を襲ってくるようになりました。他人事ではなくいつ我が身周辺におきても不思議はないと思っています。

新型コロナ騒動も一向に収束するどころか再拡大の様相を見せています。高齢者や障害者は重症化の可能性が高いと言われていて、日常の生活を守るだけでなく命をどう守るかが大きな課題となってきました。感染者に対する差別も気になっています。

コロナ騒動を通して仕事の仕方や人の集まりの形が大きく変わるのでしょか？在宅ワークとか事務のAI化、法要までがオンライン、社会のありようが変わって人間関係の希薄化がすすむ可能性があります。

でも、どうでしょうか？どんな時代でも人はやはり人とともにしか生きられない気がします。コロナ後がどんな社会になっているか予想はできませんが、形は変わろうとも人と人がつながり互いに支え合う社会であることが大事と思っています。

力不足の私ですが、「にじのかけ橋」のことについて勉強して少しでもお役に立てればと思っています。

♡ハートケアだより♡

WITH コロナ

管理者・サービス提供責任者 鷺池美智子

『コロナの文字 一つにすると君となり
一緒に肅む(すすむ)これからの道』

五七五七七に今の思いを込めてみました。

自肅の肅という字には、前に進むという意味があり、自肅とは「自らよく考えて判断して行動しよう」という意味だそうです。

3月より、私達は今までとは全く違う生活をしてきました。3密を避けての生活。うがい・手洗い・消毒、そしてマスクの常時着用という新しい生活形態。そのような中、ハートケアでは一人の感染者もなく過ごせているのは、利用者をはじめみんなの頑張りの結果だと思えます。これからはコロナと共存しながら利用者自分達を守っていかなくてはなりません。社会的距離は保ちながら、利用者自分達の心の距離はそのまま変えず、よりいっそう、寄り添っていきたいと思えます。

利用者と共に、コロナと共に

ヘルパー 千坂真由美

私は今までお年寄りの介護の仕事をしており、障害者のケアは初めてで、私に出来るのだろうか、分からない事ばかりでした。これでいいのかとか心配でしたが、その都度、丁寧に教えて頂いて今も続けられています。実際にケアをさせて頂いて利用者の方が何を伝えたいのか、どうしたいのかをつかめず、どう対処していいのかわからなくて、本当に私で大丈夫なのかと思った時もありました。何回か接していくうちに利用者の方も少しづつ私に笑顔で接してくれるようになり、色々な会話が出来ようになりました。こんな時はこうすればいいんだとか、少しづつ分かるようになってきました。

このコロナ禍の中でのケアということもあり、これから経験することもたくさんあると思えますが、利用者さんに喜んで頂けるように頑張ります。

令和2年度 神戸市社会福祉大会 受賞者

長年、生活介護の利用者にお仕事を頂いている2企業を推薦させていただきました。

神戸市長表彰 【民間社会福祉事業従事功労者】 ・乙女草株式会社 ・株式会社シンセー

<特定非営利活動法人にじのかけ橋 役員>

理事長 武田純子
副理事長 中西光政
理事 田中 康 岡崎充男 飯島久道 長田祐子
監事 藤井建治

<職員・スタッフ>

統括責任者 長田祐子
事務 高坂恵美子 城戸 昇 山田和子
嘱託医 森垣 駿

○生活介護
管理者・サービス管理責任者 羽田晋也

・生活介護 にじのかけ橋
主任 春田佳寿世
看護師 内田八重子 野添みつる
支援員 吉田恵子 花崎加葉 奥村久美
廣瀬博子 高橋三千代 藤原公男
運転員 淵野好己 笠井睦生 和田美樹
和田隆司 宮崎壽巳

・生活介護 ぶどうの木
主任 木田京子 副主任 吉田直美
看護師 本間ヒロ子 支援員 辰巳 仁
運転員 池野利仁

○居宅介護 ハートケア「にじのかけ橋」
管理者・サービス提供責任者 鷺池美智子
登録ヘルパー18名

○放課後等デイサービスなないろ
管理者・児童発達支援管理責任者 長田祐子
児童指導員 嶋本静代 石田美智子 奥 恵子
亀村むつ美 北島恭子 田中孝子 広田直仁
運転員 赤尾 信 布施淳子 和田美樹

∞編集後記∞

渦巻くコロナの脅威。予期せぬ事態になっての気づきや工夫もありました。この経験を前に進む力にしていきたいと思えます。忘れ得ぬ年のそれぞれの思いと表情をお届けします。(編集委員：木田・長田・羽田・山田)

生活介護 にじのかけ橋	神戸市東灘区御影中町8丁目3-14	Tel. 078-842-7765/Fax. 078-842-7790
生活介護 ぶどうの木	神戸市東灘区深江南町2丁目9-7	Tel/Fax. 078-451-8850
居宅介護 ハートケア「にじのかけ橋」	神戸市東灘区御影中町8丁目3-14	Tel. 078-842-7793/Fax. 078-842-7790
放課後等デイサービスなないろ	神戸市東灘区御影本町2丁目15-2-301	Tel. 078-821-7716/Fax. 078-821-7711